



「夢ある未来平塚を創る」

片倉 章博 議員

■中心市街地の活性化

問 今年開催された第67回湘南ひらつか七夕まつり以降、七夕飾りを市民感覚で制作したいという声があるが、見解を伺う。

産業振興部長 先日行われた高校生とのスクール議会で、小・中・高・大学生の平塚七夕学生連合による参加などの提案もあった。今後、若い人たちのアイデアを七夕まつりに反映できるように、実行委員会で方策を検討していく。

問 年間を通じて七夕を感じられるまちとなるため、商店街に短冊形のLED照明を取り付ける。このような提案を実行委員会へ行い、参加型の新たな七夕まつりを検討できないか。

産業振興部長 街中で七夕を感じられる仕掛けをいろいろな形でつくっていきたい。実行委員会だけでなく全庁的にアイデアを出しながら考えていく。

■見附台広場の今後

問 見附台周辺地区土地利用計画改訂整備方針の概要とスケジュールを伺う。

副市長 市民センターや崇善公民館、見附台公園などがあるAブロックと錦町駐

市が客引き行為防止条例を制定した。一定の効果が示されて有効であると考えられるが、検証を行ったか。

副市長 他市では条例制定後に、客引きが減少したことから一定の効果があつたと認識している。本市では26年に条例制定の要望書が提出されたため、平塚警察署や駅前商店会、商工会議所と意見交換や現場確認を行ったが、具体的な条例制定の議論には至らなかった。今後有効な取り組みについて関係団体と意見交換などを行っていく。

■湘南スタジアム研究会の今後

問 研究会はアドバイザーにガンバ大阪前社長を招集したが、大阪府吹田市にあるガンバ大阪の本拠地建設はどのような方法か。

都市整備部長 28年2月に完成した市立吹田サッカースタジアムは約4万人が収容できるサッカー専用スタジアムで、Jリーグガンバ大阪のホームスタジアムである。ガンバ大阪などでつ



「教育は人づくり。」

須藤 量久 議員

■豊かな心を育む教育

問 平成29年度平塚市教育の方針に、健全な心と体を培い、豊かな人間性を育む学びを推進するとの取組が取り組まれているが、教育指導担当部長 子供たちの心や体を健やかに育て、豊かな感性や思いやり

の心を育てていくためには、体験的な活動を充実させることや、さまざまな人との触れ合い、優れた書物、音楽などとの出会いが重要である。教育委員会では、学校司書を全小・中学校へ配置することによる読書への意欲を高める取り組みや、全小学校6年生が劇団四季の演劇を鑑賞する「こころの劇場」の取り組みなどを通して、豊かな人間性を育む教育の充実を

問 道徳教育や「なすこと」によって学ぶ体験活動の充実、豊かな心を育む教育を進める上でのポイントになると思われるが、取り組みを伺う。

教育指導担当部長 これまで本市では、道徳教育を推進していくための手立てや課題について研修を行う道徳教育担当者会を開催するとともに、年3回の授業研究会の開催を通して、道徳教育の充実を努めてきた。今年度は、担当者会の内容と回数拡充を図るとともに、神奈川県が実施している「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を活用し、道徳教育の充実に向けた取り組みを進めている。また、体験活動を充実させるため、「生きる力

問 大和市や厚木市、川崎



ゲリラ豪雨対策について

黒部 栄三 議員

■ゲリラ豪雨対策について

問 行政の最大の使命は、市民の生命や財産を守ることである。「異常」と言われていた雨の降り方は、最近では「日常」になりつつある。観測技術の発達により、3時間後までの降雨も予測できるようになっていく。本市は総合浸水対策基本計画に基づき、雨水対策を進めているが、そのスケジュールについて伺う。

科、総合的な学習の時間の中で地域の人の協力により、田んぼでの稲作体験やバケツ稲作り、野菜や菊の栽培などに取り組んでいる。また、中学校の職業体験学習として、農家を訪問し、平塚特産の小松菜やきゅうりの収穫をしたり、酪農家の牛舎での搾乳体験などを行ったりにしている。これらの体験活動や農業に携わる人との触れ合いは、食べ物や命の大切さを考える態度を養うこと、自然や郷土を理解し愛すること、生産者の苦勞や収穫の喜びを知ることなど、児童・生徒の豊かな人間性を育む機会となる。教育委員会としても一層の充実を努めていきたいと考えている。

問 福島県喜多方市は、全国初となる教科として喜多方市小学校農業科を設置して、市内の全小学校で実施している。土づくりから始まり、種まき、苗の管理、植え付け、除草や観察、収穫、調理など、一連の農作業を中心に学習を進めている。農業活動という直接的な体験を契機に、さまざまな面から児童の暮らしぶりを見つめ直させて、豊かな心の育成を図っている。基本は「なすこと」によって学ぶのである。このような取り組みを参考として、豊かな心を育む教育をすべきではないか。

問 福島県喜多方市は、全国初となる教科として喜多方市小学校農業科を設置して、市内の全小学校で実施している。土づくりから始まり、種まき、苗の管理、植え付け、除草や観察、収穫、調理など、一連の農作業を中心に学習を進めている。農業活動という直接的な体験を契機に、さまざまな面から児童の暮らしぶりを見つめ直させて、豊かな心の育成を図っている。基本は「なすこと」によって学ぶのである。このような取り組みを参考として、豊かな心を育む教育をすべきではないか。

問 福島県喜多方市は、全国初となる教科として喜多方市小学校農業科を設置して、市内の全小学校で実施している。土づくりから始まり、種まき、苗の管理、植え付け、除草や観察、収穫、調理など、一連の農作業を中心に学習を進めている。農業活動という直接的な体験を契機に、さまざまな面から児童の暮らしぶりを見つめ直させて、豊かな心の育成を図っている。基本は「なすこと」によって学ぶのである。このような取り組みを参考として、豊かな心を育む教育をすべきではないか。

問 福島県喜多方市は、全国初となる教科として喜多方市小学校農業科を設置して、市内の全小学校で実施している。土づくりから始まり、種まき、苗の管理、植え付け、除草や観察、収穫、調理など、一連の農作業を中心に学習を進めている。農業活動という直接的な体験を契機に、さまざまな面から児童の暮らしぶりを見つめ直させて、豊かな心の育成を図っている。基本は「なすこと」によって学ぶのである。このような取り組みを参考として、豊かな心を育む教育をすべきではないか。

問 福島県喜多方市は、全国初となる教科として喜多方市小学校農業科を設置して、市内の全小学校で実施している。土づくりから始まり、種まき、苗の管理、植え付け、除草や観察、収穫、調理など、一連の農作業を中心に学習を進めている。農業活動という直接的な体験を契機に、さまざまな面から児童の暮らしぶりを見つめ直させて、豊かな心の育成を図っている。基本は「なすこと」によって学ぶのである。このような取り組みを参考として、豊かな心を育む教育をすべきではないか。

問 福島県喜多方市は、全国初となる教科として喜多方市小学校農業科を設置して、市内の全小学校で実施している。土づくりから始まり、種まき、苗の管理、植え付け、除草や観察、収穫、調理など、一連の農作業を中心に学習を進めている。農業活動という直接的な体験を契機に、さまざまな面から児童の暮らしぶりを見つめ直させて、豊かな心の育成を図っている。基本は「なすこと」によって学ぶのである。このような取り組みを参考として、豊かな心を育む教育をすべきではないか。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

土木部長 浸水の深さの表示は災害時だけでなく、日頃からドライバーへの注意喚起ができ、有効な対策であると考えている。最近では水位センサーや冠水警報、緊急通報システムなども高機能なものが開発されている。浸水の深さの表示を含め、効率的、効果的な対策を検討していく。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

土木部長 浸水の深さの表示は災害時だけでなく、日頃からドライバーへの注意喚起ができ、有効な対策であると考えている。最近では水位センサーや冠水警報、緊急通報システムなども高機能なものが開発されている。浸水の深さの表示を含め、効率的、効果的な対策を検討していく。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

問 茨城県常総市では浸水の電柱に、看板やテープで浸水の深さの最大値を表示している。本市でも道路やアンダーパスに表示ができないか。

清風クラブ 議員 佐藤 貴子 議員 野崎 審也 議員 諸伏 清児 議員 坂間 正昭 議員